

# 読書のまち・かわさき通信No.82

2018年10月発行  
川崎市教育委員会事務局

## 第16回 かわさき 読書の日のつどい

申込不要・入場無料

～親子で参加しませんか～

日時：平成30年11月4日（日）  
13:30～16:30（受付 13:00～）  
会場：中原市民館（最寄り駅：武蔵小杉駅）

かわさき読書週間

10月28日～11月10日

### <主なプログラム>

- ☆ 入賞作品展示（標語・ポスター・本の紹介）
- ☆ 読書活動表彰式（個人・団体・学校）
- ☆ 講演と児童文学作家との交流会

講演 くすのき しげのり氏

演題「一人ひとりが、みんな大切

～作者が語る作品の世界～」

『おこだでませんように』

『ええところ』

『ええたまいっちょう！』

『いちねんせいの一年間』シリーズ  
の作者！！

今年は、11月4日（日）が「かわさき読書の日（11月の第1日曜日）」です。また、「かわさき読書の日」をはさんで、前後2週間を「かわさき読書週間」として位置付け、読書活動の啓発に取り組んでいます。その1つとして、中原市民館で「かわさき読書の日のつどい」を開催します。

「かわさき読書の日のつどい」では、市内の児童生徒から寄せられた読書活動に関する「読書標語」「読書ポスター」「本の紹介文」などの優秀作品を表彰します。また、読書活動作品づくりに意欲的に取り組んだ学校や長年にわたり図書館・学校・地域で子どもの読書を推進する活動に取り組んできた優秀団体を表彰します。

講演と児童文学作家との交流会には、くすのきしげのり氏をお招きしています。くすのき氏は、「心豊かに生きる」をテーマに大学在学中より始めた創作童話・絵本・詩・童謡など児童文学の創作活動と、小学校の教育現場における「徳育」を中心とした教育活動に取り組んでおられます。今回、『一人ひとりが、みんな大切～作者が語る作品の世界～』というテーマで講演をいただくとともに、児童との交流会を予定しています。

親子でも、お一人でも、ぜひご来場ください！



第14回かわさき読書の日のつどいの様子

### ★来場された方の感想より（H.29年度）★

- ・貴重な話を聴けて、有意義な一日でした。また、子どもたちの感想文も新鮮でした。
- ・このような“つどい”があるのをはじめて知りました。読書離れが寂しいこの頃ですが、1冊の本による影響は大きいものがあります。益々のご啓発を祈ります。

# 川崎フロンターレと本を読もう！

キックオフ！ 読書のまち かわさき

「読書のまち・かわさき」事業の一つとして、今年度も川崎フロンターレと協働し、読書推奨キャンペーン事業「川崎フロンターレと本を読もう！」を実施しています。例年行われている「人形劇団ひとみ座&川崎フロンターレによる人形劇と、フロンターレコーチ(元プロ選手)による読み聞かせ」を、いくつかの小学校で行っています。

川崎フロンターレのコーチが来校し、ひとみ座が演じる「ふるん太」くんや、「ワルンタ」くんと共に、本への関心を高める劇を披露しています。今後も読書好きの子どもが増えることを願って、こうした取組を推進して参ります。



## 平成30年度 全市図書ボランティア研修会

この研修会は、学校図書ボランティアの方が対象ですが、読書に興味・関心のある市民の方々の参加、学校図書ボランティアに関心のある方の参加も大歓迎です。

第1回は7月3日(火)に中原市民館にて実施いたしました。洗足学園音楽大学「おはなしコンチェルト たんぽぽの会」のみなさんをお迎えし、絵本に音楽や効果音を融合させた読み聞かせを披露していただきました。これまで味わったことのない「大きなかぶ」の世界観をつくりあげ、聴衆を魅了してしました。

第2回研修会は次のような日程で実施いたします。図書ボランティアのスキルアップにつながる研修になるよう準備を進めています。皆様お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。



### 平成30年度 第2回 全市図書ボランティア研修会のご案内

◆ 日時：2019年1月15日(火) 9:50~11:20〔受付開始 9:30~〕

◆ 会場：中原市民館 多目的ホール〔パークシティ武蔵小杉 ミッドスカイタワー2F〕

◆ 講師：未定

☆図書ボランティア等学校関係の方は、学校を通してお申し込みください。12月頃に学校に案内を配布いたします。

☆一般の方は申込不要・参加自由です。

〔問い合わせ〕教育委員会事務局「読書のまち・かわさき」事業担当 電話200-3243

### 「家読(うちどく)とは 家族みんなで本を読んで楽しい時間を過ごすこと！」

家読のやり方は、基本的に自由です。しかしながらどうすれば良いのか？という方のために！

1. 家読の日を決める→週に1回とか、何曜日とか、毎月第4土曜日など。
2. 我が家の家読スタイルを決める→家族で同じ本を読む、それぞれの本をそれぞれのペースで読む、大人が子どもに読み語りをする、子どもが大人に読み語りをする、記念日に家族が主役のために読み語りをする、音読した回数でポイントを重ねお楽しみをつくる、寝る前に行うなど。
3. 家族で話し合って読む本を決める→子どもが学校から借りてきた本にする、図書館からの「家読おすすめの本リスト」から選ぶなど。

絵本で家読をスタートすることが推奨されています。なぜなら、絵本は感動的・教育的な内容が多く、家族全員が短い時間で読みとおすことができるので。

参考になりましたでしょうか！